

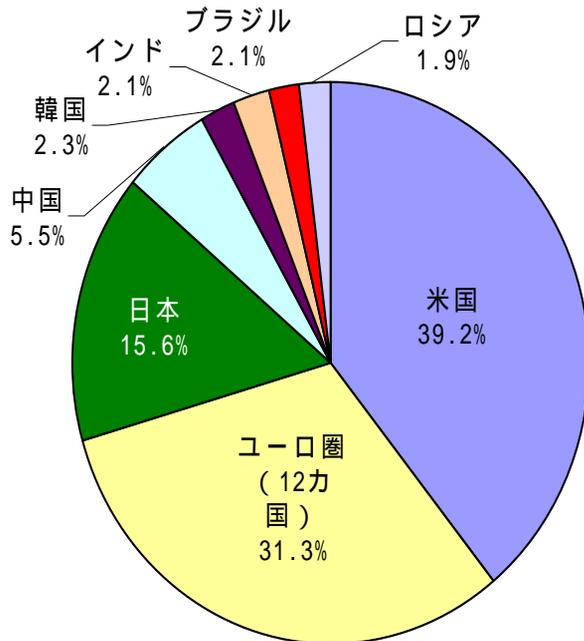
## 参考資料(東アジア連携の考え方について)

- ・ 世界経済に占める各国のシェア…………… 1
- ・ 世界経済の長期見通し…………… 2
- ・ 世界貿易におけるアジアの比重の高まり…………… 3
- ・ 日本からの地域別輸出シェアの推移…………… 4
- ・ 増加する日本海沿岸諸港の外貿コンテナ貨物取扱量…………… 5
- ・ 訪日外国人旅行者数の推移…………… 6
- ・ アジアとの人的交流…………… 7

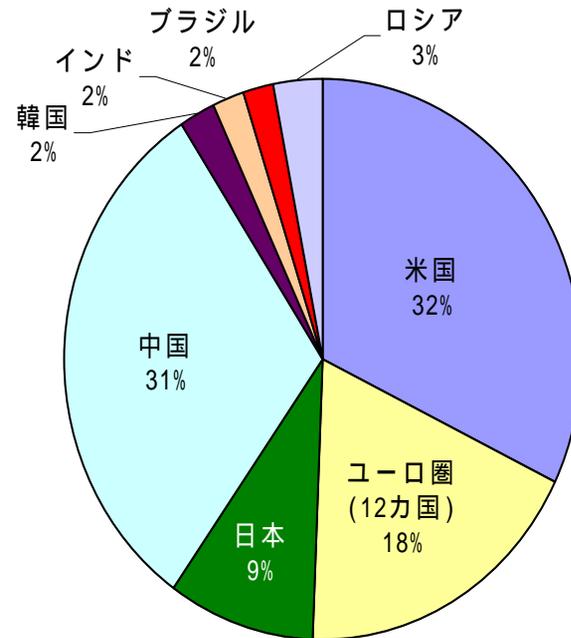
# 世界経済に占める各国のシェア

内閣府「日本21世紀ビジョン」は、世界の名目GDPに占める中国のシェアについて、2004年の5.5%から2030年には31%へと拡大すると予測されている。

(1) 2004年の世界名目GDPに占める各国のシェア



(2) 2030年の世界名目GDPに占める各国のシェア



注)1. 世界は上記8カ国・地域の合計。

2. ユーロ圏12カ国とは、2005年3月時点のユーロ導入国(アイルランド、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スペイン、ドイツ、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、ルクセンブルグ)。

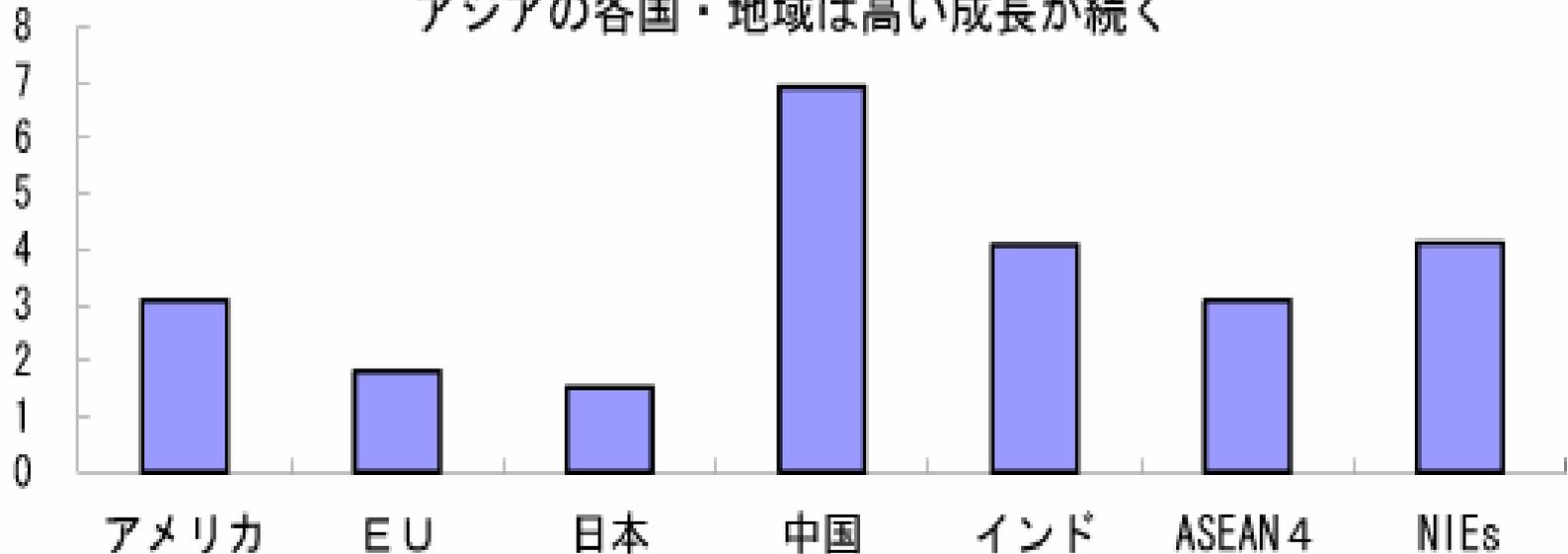
(出典)内閣府「日本21世紀ビジョン」をもとに国土交通省国土計画局作成

## 世界経済の長期見通し

内閣府「世界経済の潮流」によれば、世界経済全体の成長率\*1は、2030年までの平均で約3%/年と予測されており、特にアジアでは2030年までの平均で中国6.9%、インド4.1%、NIES\*2 4.1%、ASEAN\*3 3.1%と、先進国に比べて高い成長率が予測されている。

(平均年率、%)

アジアの各国・地域は高い成長が続く



(出典) 内閣府「世界経済の潮流」(2004年秋)

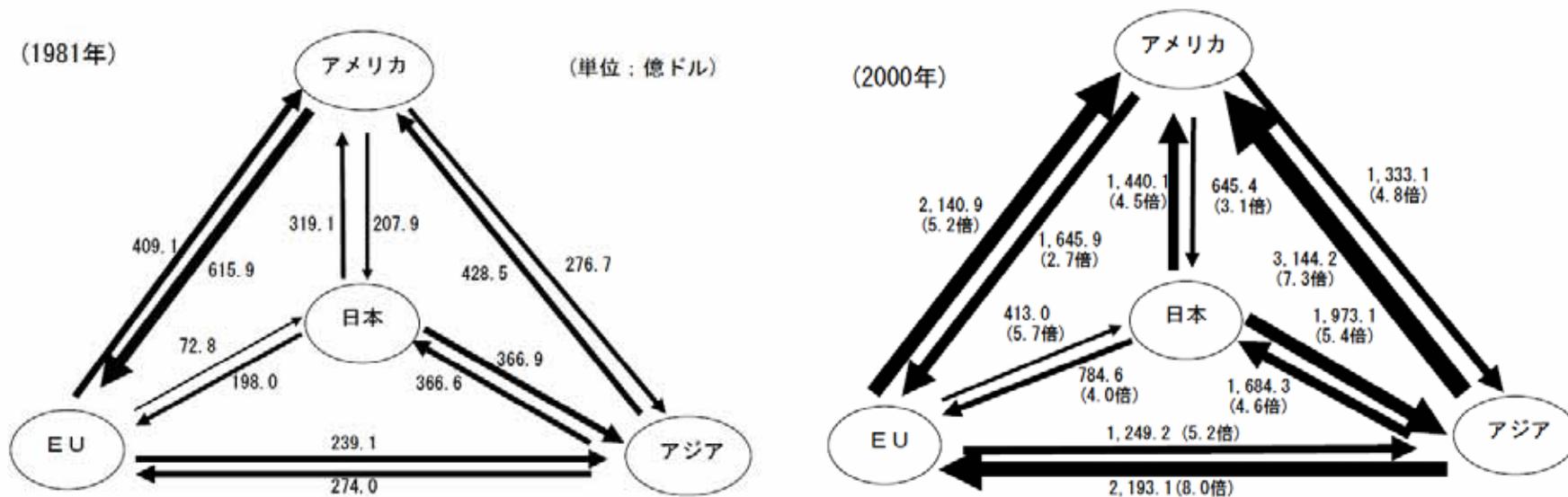
\*1 推計した国の合計として示された値

\*2 シンガポール、韓国、香港、台湾

\*3 フィリピン、マレーシア、タイ、インドネシア

## 世界貿易におけるアジアの比重の高まり

アジア地域から米国向けの輸出額は20年間で7.3倍、EU向けの輸出額は8.0倍と世界平均(3.3倍)よりも速いペースで増加した。アジアと欧米の間では、日本が高い生産技術を要求される中間財を生産し、中国・アセアンが日本の中間財を輸入して最終財に組立て、最終消費地である欧米諸国へ輸出するサプライ・チェーンが成立している。



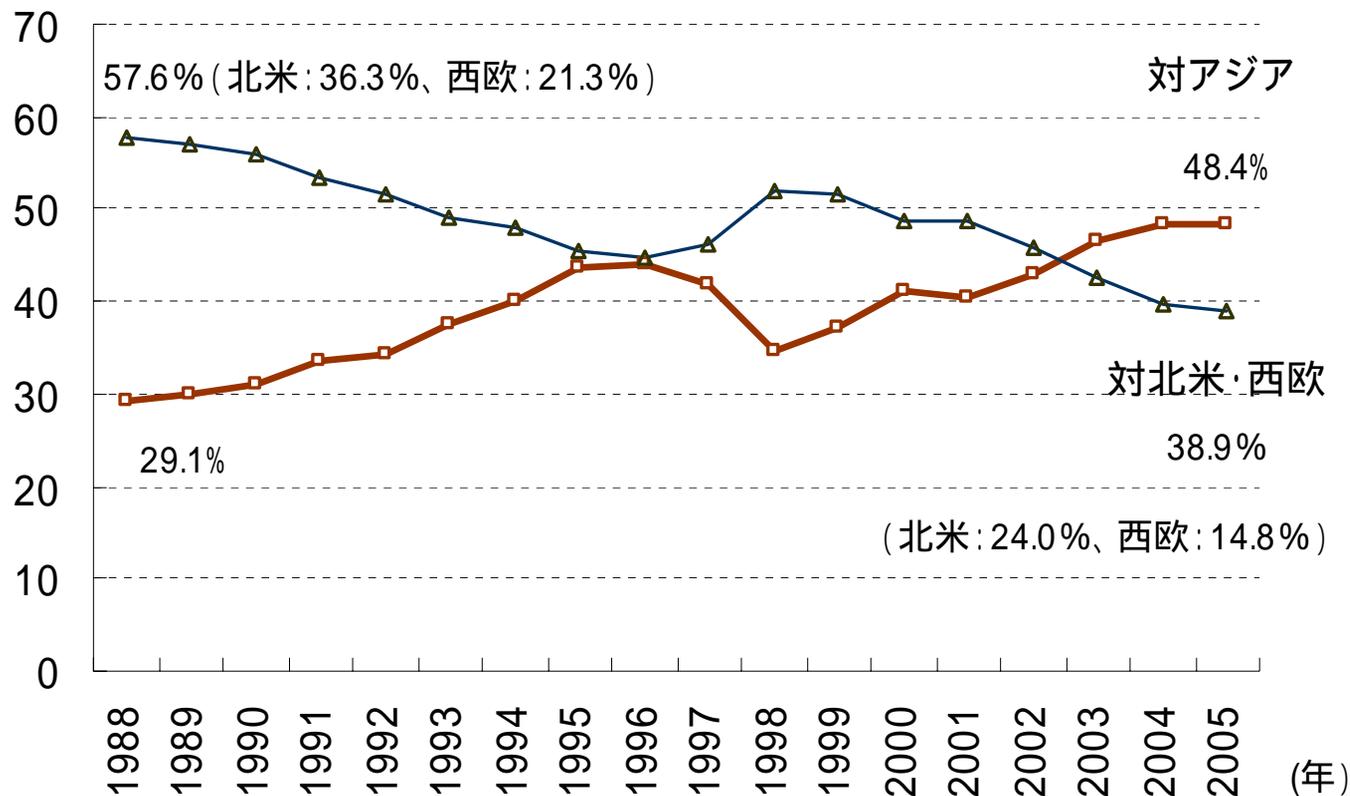
(出典) 内閣府「世界経済の潮流」(2004年秋)

# 日本からの地域別輸出シェアの推移

2003年以降では、アジア向けが北米・西欧向けを上回っており、日本とアジアとの貿易依存関係が高まっている。

(対世界比、%)

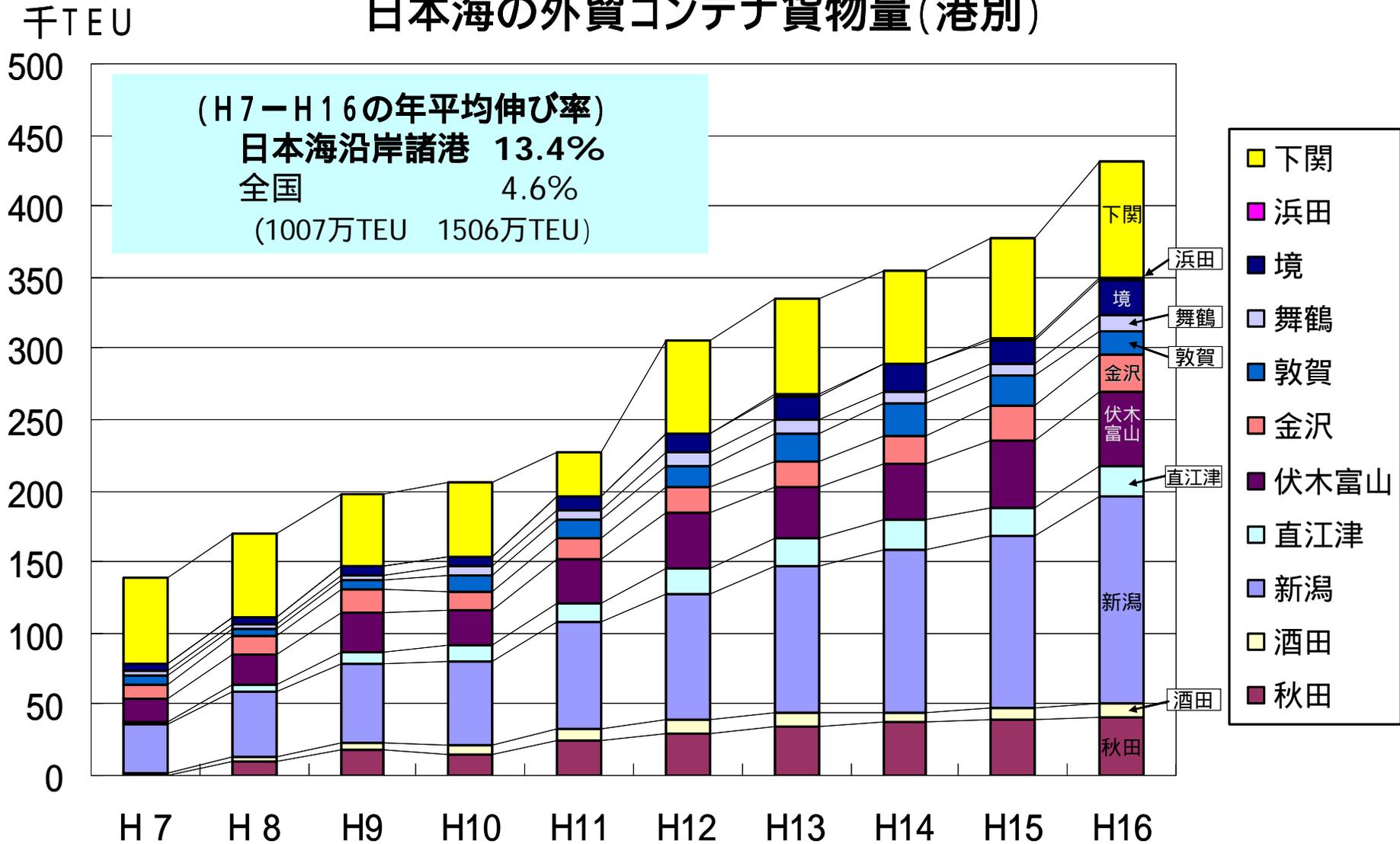
日本からの地域別輸出シェアの推移



(出典) 財務省貿易統計をもとに国土交通省国土計画局作成。

# 増加する日本海沿岸諸港の外貿コンテナ貨物取扱量

## 日本海の外貿コンテナ貨物量(港別)



(出典) 国土交通省港湾局資料

平成16年は速報値

## 訪日外国人旅行者数の推移

東アジア地域からの訪日外国人旅行者数は総数の66.2%を占め、3年間の年平均増加率では11.0%と世界平均(8.8%)を上回る伸び。

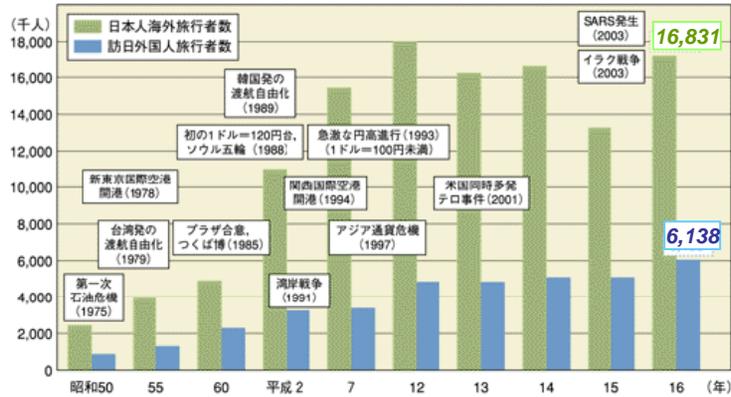
	2001年 訪日外客数	2004年 訪日外客数	2004年の 構成比 (%)	2001年から2004年 までの年平均増加率 (%)
世界計	4,771,555	6,137,905	100.0	8.8
東アジア9カ国・地域	2,970,228	4,062,474	66.2	11.0
(韓国)	1,133,971	1,588,472	25.9	11.9
(台湾)	807,202	1,080,590	17.6	10.2
(中国)	391,384	616,009	10.0	16.3
(香港)	262,229	300,246	4.9	4.6
(フィリピン)	124,072	154,588	2.5	7.6
(タイ)	66,174	104,864	1.7	16.6
(マレーシア)	59,122	72,445	1.2	7.0
(シンガポール)	69,517	90,001	1.5	9.0
(インドネシア)	56,557	55,259	0.9	-0.8
ヨーロッパ	615,130	726,525	11.8	5.7
北米	835,465	923,836	15.1	3.4
その他	350,732	425,070	6.9	6.6

(出典) 国際観光振興機構(JNTO)統計をもとに国土交通省国土計画局作成。

# アジアとの人的交流

## 【国際観光の動向】

- 訪日外国人旅行者数は、増加傾向にあるものの、日本人海外旅行者数と比較してまだまだ少ない状況
- 国際旅行収支は、約2.9兆円の赤字(2004年)という状況

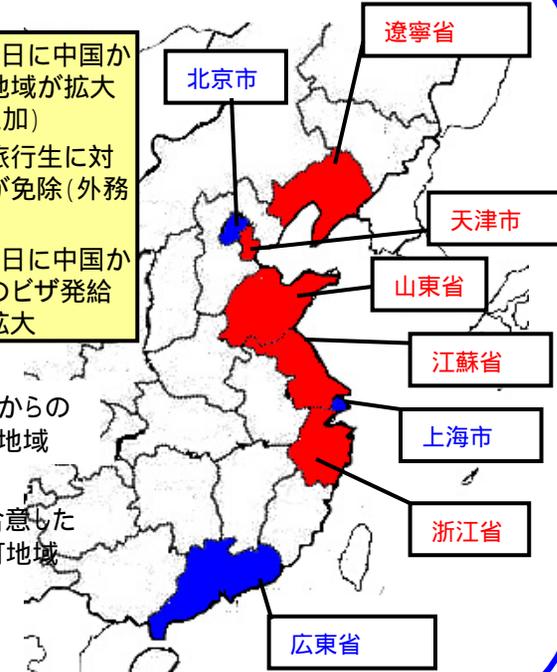


(出典): 国土交通省「平成16年度観光の状況に関する年次報告」

## 【大きな潜在訪日旅行市場を有する中国】

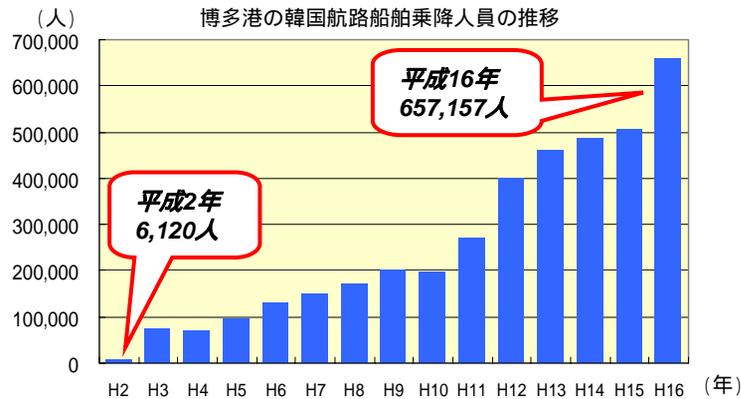
平成16年9月15日に中国からの団体旅行許可地域が拡大される(4省1市が追加)  
 中国からの修学旅行生に対し9月1日からビザが免除(外務省)  
 平成17年7月25日に中国からの団体旅行客へのビザ発給地域を中国全土に拡大

■ H16.9.15以前からの団体旅行許可地域  
 ■ H16.9.15に合意した団体旅行許可地域



(出典): 国土交通省国土計画局作成

## 【韓国航路で過去最高の旅客数】



(出典): 福岡市港湾局資料をもとに国土交通省国土計画局作成